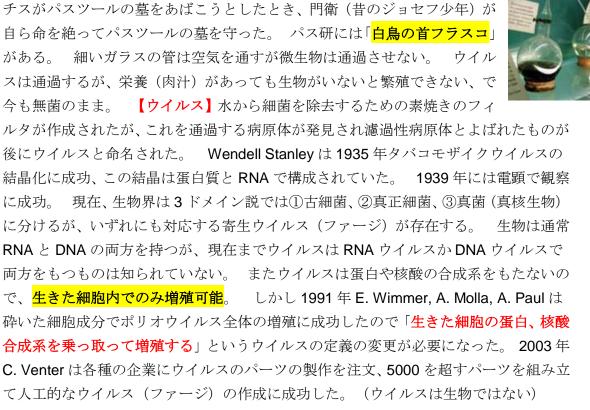
パスツールと狂犬病ワクチン

https://l-hospitalier.github.io

2**017.5**

【狂犬病】パスツールやコッホの病原性細菌の確認後、寄生虫と細菌がすべ ての感染症の原因と考えられた時もあった。 コッホの結核菌グリセリン抽 出物(ツベルクリン)が結核ワクチンとして無効であったのに対し、パスツ ールの狂犬病ワクチンは著しい効果を示した。 現在でも lyssavirus による 狂犬病発病後に生存した報告例は7例*¹年間6万人が死亡する(知覚神経過 敏により恐水、恐風症状や、lyssavirus はアセチルコリン受容体と結合、侵 入するため流涎などあり、サリンの作用機序と関連?)。 血行性伝播では なく 20~90 日の潜伏期 (25cm/日で中枢神経に向かうので海外では狂犬や狂 猫、アライグマは足で蹴とばす、日本大使館に駆け込む(ワクチン用意あり) *2米ではコウモリなので足で対応は困難)、発病前に RIG(rabies immune globulin) や狂犬病ワクチン投与でほぼ全例が予防可能(過去に狂犬病予防 注射をうけたヒトは RIG 不要)。 パスツールは乾燥させた感染ウサギの 脊髄の乳剤をワクチンとして使用、**5万人以上に接種し死亡は151名(0.3%)** であった。 図は医師がワクチン投与するのを見守るパスツール。 パス研 には狂犬にかまれる少年像がある。 1885年、9歳の少年が狂犬に顔と手 と体を噛まれてパスツールの所に連れてこられた。 ワクチン注射をしなけ れば死ぬ。 危険覚悟のワクチン注射が行われ、ジョセフは助かった。 ナ チスがパスツールの墓をあばこうとしたとき、門衛(昔のジョセフ少年)が 自ら命を絶ってパスツールの墓を守った。 パス研には「<mark>白鳥の首フラスコ</mark>」 がある。 細いガラスの管は空気を通すが微生物は通過させない。 ウイル スは通過するが、栄養(肉汁)があっても生物がいないと繁殖できない、で 今も無菌のまま。 **【ウイルス】**水から細菌を除去するための素焼きのフィ



^{*1} ハリソン 5 版、このうちミルウオーキー(ウイスコンシン)・プロトコル(ミダゾラム、ケタミンで昏睡させ、リバビリン、アマンタジンなど抗ウイルス剤投与)によるものが 6 例。 但しハリソン 5 版 p1348 には「ケタミンと抗ウイルス薬による昏睡療法は最近多くの場合 (50 例) 失敗に終わっている」と記載、ある者には緩和療法が必要であろうと。
*2 タイ、ミャンマーなどでは敬虔な仏教徒が多く、野犬を捕獲しても誰もが(殺処分を嫌がり)解放してしまうので、常に野犬対策が失敗している。



